

第 32 回日本植物細胞分子生物学会（盛岡）大会・ベストポスター賞の発表

第 32 回日本植物細胞分子生物学会（盛岡）大会ベストポスター賞が下記の 4 課題に決定されました。

本大会では学生会員の発表をエンカレッジする目的で大会事務局がベストポスター賞を企画いたしました。審査員が全ての対象課題を審査できるポスター発表を選考対象とし、特に学生会員が発表者となっているポスターとして 35 課題を抽出しました。審査員は大会に参加した幹事 9 名、評議員 31 名の合計 40 名とし、各審査員 5 票以内で選考していただき、記名投票（大会本部で投票）をお願いしました。

開票状況は下記の通りです。

開票日時：2014 年 8 月 25 日

開票場所：岩手大学農学部

開票者：加藤一幾（学会員）、横井修司（学会員）

開票立会人：高畑義人（学会員）

投票総数：32 人

投票課題数：135 票

有効票数：134 票

無効投票数：1 票

第 32 回日本植物細胞分子生物学会（盛岡）大会・ベストポスター賞 受賞課題（ポスター番号順、○が受賞者）

<P-12>

人工ヌクレアーゼ TALEN を用いたシロイヌナズナ多重変異体の作製

○安本 周平^{1,2}、關 光¹、福島 エリオデット¹、佐久間 哲史³、山本 卓³、村中 俊哉¹

1 大阪大学大学院 工学研究科 生命先端工学専攻 細胞工学領域、2 JSPS、3 広大院・理

<P-13>

プロテオミクスによるブドウの新規アントシア ニントランスポーターの探索

○阪本 浩嗣¹、深尾 陽一朗²、太田垣 駿吾¹、松本 省吾¹、白武 勝裕¹

1 名古屋大学大学院 生命農学研究科、2 奈良先端科学技術大学院大学 バイオサイエンス研究科

<P-60>

C/N 栄養応答に関与する新規 14-3-3 タンパク質 結合因子の機能解析

○佐々木 勇樹¹、安田 盛貴¹、柳澤 修一²、佐藤 長緒¹、山口 淳二¹

1 北大院・生命科学院、2 東大・生物生産工学研究センター

<P-75>

TILLING 法によるトマト GABA-T1 及び SSADH 変異体の単離

○中山 瞳美¹、岡部 佳弘¹、江面 浩²、松倉 千昭²

1 筑波大学院 生命環境科学研究科、2 筑波大・生命環境系

ベストポスター賞を受賞された方々、まことにおめでとうございます。今後の更なる研究の発展に期待いたします。後日、事務局から賞状を送付いたします。

第 32 回日本植物細胞分子生物学会（盛岡）大会・シンポジウム事務局